

第4回 笠間市立小中学校学区審議会 議事録

日 時：令和6年9月19日（木） 午後7時から

場 所：笠間市役所教育棟2階 2-1・2-2

出席者：審議委員23名、事務局11名

1. 開会

2. 議事

事務局：本日の資料について、確認をさせていただきます。

- ・第4回笠間市立小中学校学区審議会 次第
- ・資料1 第3回学区審議会でのグループ協議の結果、意見を集約した資料
- ・資料2-1 から 2-3 笠間地区、友部地区、岩間地区、学校ごとの課題抽出資料
- ・グループ協議進め方の資料「10年後の笠間市の学区について考えよう」
- ・小学校通学区域の平面図
- ・中学校通学区域の平面図

以上の6部になります。

また、机上のiPadに、通学区域を示した地図を用意しましたので、併せてご確認ください。資料の不足や、iPadの操作について不明な点がございましたら、事務局までお申し出ください。なお、ご発言につきましては、議事録の作成の都合上、マイクを使つての発言にご協力をお願いいたします。

それでは、ここからは、学区審議会条例の「第5条第3項」の規定により、会長に会議の議長となって進行いただきます。会長よろしく申し上げます。

会 長：はじめに、本審議会の内容は特別の事情がない限り公開としております。今後の学区審議会についても引き続き公開で実施していきたいと思っております。なお、議事録についても個人名は出しませんが、すべて公開とさせていただきます。それでは、さっそく議事に入らせていただきます。(1)「前回協議事項の結果について」事務局から説明をお願いします。

事務局：まず、議事に沿って説明させていただきます。

(1) 前回協議事項の結果について説明させていただきます。お手元の資料1をお開きください。こちらは前回、地区ごとに分かれてグループ協議を行った結果になります。こちらの資料1に関しましては、各地区で出た学区の編成に関わるご意見を抽出したものを1枚にまとめた資料となります。次の2ページ以降に関しては、地区ごとに出了意見を全て記載した資料となっております。前回多数のご意見を頂きまして、活発な意見交換がされたと思っております。今回もグループ協議を予定しておりますので、皆様忌憚のないご意見をいただければと思っております。(1)に関しては以上でございます。

会 長：ただいまご説明のあったこの資料ですけれども、本当に丁寧にまとめられています。少しお時間をとりますので、中を見ていただいて、ご不明な点ご質問

等ありましたら挙手をお願いいたします。それでは5分ほど時間をとらせていただきます。

(資料読み込み)

会長：それでは5分ほど経過しましたので、事務局からの説明と、それから今皆様方がお読みいただいたところで何かご不明なところ、確認したいところ等ございましたら挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。大丈夫ですか。

それでは次に(2)グループ協議について、事務局から説明をお願いします。

事務局：事務局からグループ協議に入る前に、資料とタブレットについて説明させていただきます。お手元のA3の資料、2-1から2-3をお開きください。こちらの資料は、各学校の将来推計を地区ごとにまとめたものです。それが左上(1)になります。左下(2)は、学校施設の現状ということで、基本計画に載っている学校施設の老朽化状況を地区ごとに抜粋したものです。2番学校施設の現状の右側に健全度順位というものがあります。こちらは健全度順位が高いものほど老朽化が進んでいるという意味になります。老朽化が進んでいる上位10の建物に関しては、色がピンクになっていますので、こちらは老朽化が進んでいるという判断をしていただければと思います。続きまして資料右下(3)住所ごとの人数ということで、こちらが令和12年4月の小学校1年生から6年生までの人数の想定値を記載させていただきました。こちらのもとになっている数字は想定ではなく、今年4月1日時点の住民基本台帳の人数をもとに算出したものです。令和6年4月1日の時点で0歳の子どもは、令和12年4月に小学校1年生に上がりますので、今の令和6年4月1日の0歳から6歳までの子どもがそのまま成長すると、令和12年4月1日に小学校1年生から6年生になるという意味合いの数字になります。ただこちらは転入転出や区域外就学については想定されておりません。あくまで住民基本台帳の人数をそのまま今の学区に当てはめると、これだけの人数になるという意味合いの数字になりますので、その点をご了承いただければと思います。

グループ協議の中で事務局の職員が巡回しますので、もし分からないこと等ありましたら、お気軽に事務局のほうに声をかけていただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。続きまして、タブレットの説明に移ります。お手元にタブレットがあります。皆様も使ったことがあるかと思いますが、グーグルマップに現在の笠間市の小学校の学区と中学校の学区を色別で表示するようにしました。人数の表示があるかと思いますが、もしよろしければタブレットを操作していただくと、その詳細が出てきますので、自由に操作していただくと構いません。こちらが、各住所に何人くらい子どもがいて、学校の距離

感がどれぐらいか、学校と学区の位置関係が住所ごとで、視覚的に把握できるものとなっています。自由に使用して構わないので、検討材料にしていだければと思います。アンケート結果もタブレットに入っておりますので、アンケート結果を見たい方は事務局の職員にお声かけいただければと思います。説明については以上になります。

総合司会：続いてグループ協議に移りたいと思います。今日は、グループのメンバーが変わっていると思います。均等に分けさせていただいて、新たなグループを作らせていただいております。そうした理由を2点ほど説明させていただきます。1点目は、皆様は笠間市の学区審議会委員でございますので、市全体を俯瞰して見ていただければという願いがございます。2点目が、他地区の学区について考えることで、新たな視点やヒントなどを得ていただければ幸いかと思い、グループ分けをさせていただきました。ご協力のほどよろしくお願いいたします。それでは早速ですが、各グループの司会の方の進行で進めていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(グループ協議開始)

総合司会：それでは、お時間となりましたので、途中ですが、ご協力ありがとうございました。席替えがございますので、一旦このグループでのお話はこれで終了になります。グループごとに挨拶をしていただければと思います。ありがとうございました。それでは、移動を済ませてから休憩に入りたいと思います。

元々笠間地区の方、手を挙げてください。左前に資料と名札を持って移動し、休憩としてください。友部地区の方、右前に移動してください。岩間地区は後ろに移動してください。

(休憩)

総合司会：それでは、おそろいのようなので再開いたします。後半は地区ごとに10年後の学区の姿について話し合っていたいただければと思います。それでは、司会の方よろしく申し上げます。時間は8時20分を目安にまとめていただければと思います。よろしく申し上げます。

(グループ協議開始)

総合司会：時間となりましたので、グループ協議を終わりにします。ここで各グループの司会が3分程度でまとめを行いますので、それぞれ聞いてください。笠間地区からお願いします。

【笠間地区発表】

司会①：笠間地区です。前半のグループ協議で出た付箋を笠間地区の委員さんに見て

いただき、10年後の学区についてということで、付箋に記入をしていただきました。主な意見として、学区の見直しが出ました。「笠間地区、友部地区、岩間地区に縛られることなく、笠間市として学区をよりよく見直していく必要がある」という意見や、資料2-1のデータに基づいて、子どもたちが減少しているので、それに基づき学区を見直したほうがいいのではないかという意見と、小学校を一緒にしてもいいところがあるのではないかというところ。あとは、学校数を減らした上で、修繕や改装をしていく部分も必要であるという意見が出ました。他には、健全度の再調査をする必要もあるのではという意見も出ました。また、子どもが減少すると、学校行事を合同で行うなど、取り組み方を変えていく必要性があることや、配布されているタブレットを活用して、他校とのオンラインによる交流授業などもできるのではないかという意見が出ました。以上になります。

総合司会：続いて友部地区、お願いします。

【友部地区発表】

司会②：友部地区です。友部地区は、前回出た大原小についての意見を振り返りながら、大原小を存続させるためには、どのような考え方があるかを中心に話をしていきました。まず出てきたのは、スクールバスを運用してはどうだろうかという意見でした。そうすることによって通学路の整備も要らなくなり、安全に子どもたちも登下校ができるようになるということでした。さらに、大原小はこのままでは人数が少なくなってしまうので、新しく特色を出すことで、例えば「不登校の子や特別支援教育などを中心にする」と、そういったところを望んで来る子どももいるのではないかという意見も出ました。また、このデータを見ると、「就学前の子どもの人数にゼロの数字が並んでいるので、他の市のように就学前の補助サポートがあると、もう少し笠間市に転入してくる人も増えるのではないか」という意見も出ました。他には、「南友部に調整区域の部分があるのですが、今の時点では真っ白で、特にどこにも所属していないという事なので、そこのグレーはよくないのではないか。やはりはっきりさせたほうがいいのではないか」という意見でした。さらに前回、「笠間地区の大橋、池野辺、福田を大原小学校区にしてみてもどうか」という意見も出たので、実際に、もし可能だったら住民の人たちはどう感じているのかアンケートをとってみてもいいのではないか、という意見も出ました。最後に、大原小だけでなく、笠間市内の学校で特色ある学校をつくるのが、これからは大事になってくるのではないか、ということでした。また、今は学区にある学校説明会だけでも、例えば笠間市全体の説明を聞いて、この学校に行ってみたいな、というような、そういった特色ある学校を自分で選択できるというのも、将来的には笠間市としてできるようになると良いのではないか、という意見でした。以上です。

総合司会：続きまして、岩間地区、お願いします。

【岩間地区発表】

司会③：岩間地区でございます。岩間地区では、前半の方では岩間第二小学校の人数減が推定されるというところからお話がありまして、後半の方に入りましては、以前ありました、岩間第二小学校と北川根小学校、岩間第一小学校と岩間第三小学校といった統合については、川を渡るなどの危険性であるとか、そういった場面でなかなか難しいということが以前はあったんだよ、というところから話合いが始まりました。先ほど友部地区の方でもございましたが、やはり学校の魅力というのを上げていって、人を増やしていくというのはどういうことなんでしょうか、と。今後とも必要になってくるのではないかとというところからお話を進めてまいりまして、義務教育学校的な形で岩間中学校の場所に、小中一貫の学校のようなものを置いて、長期に子どもたちを見ていくような体制を形作れたらよいのではないかと。また小学校のみであれば、岩間三小が場所としては中央くらいになりますので、小学校3つを1つにして、長い目で子どもたちを、お互いに通学手段であるとか、また、クラス替えができたりとか、環境を整えていくことが大事なのではないかとということで話合いが完了しました。以上でございます。

総合司会：はい。ありがとうございます。それではここで、総括として会長及び副会長からコメントをいただきたいと思っております。まず初めに、副会長、よろしくをお願いします。

副会長：活発な話合い、ありがとうございます。それぞれの地区で、拍手が出たりして和気あいあいとお話が進んでいるようで、とてもよかったですと思います。子育て支援をもう少し進めていったらどうかという、今もやってはおりますが、もう少し進んだ形で、乳幼児からの支援を手厚くしたらどうかというお話が出ていました。やはり育てやすい、産みやすく育てやすい、そういうまちづくり。思い切ったことをやらないとなかなか進んでいかないのかな、と思うんですけども、やはりその辺りを、少し重点的に進めていただければ良いのではないかな、と感じました。以上でございます。

会長：まずは皆様方、本当に活発な意見、審議をありがとうございます。その中で私が感じたことは、今、このままで日本の教育はどうなるんだろうということです。東日本大震災のときに、皆さんいろんな我慢をされたと思います。しかし、そのときにルールを守ってコンビニに並んでいました。これを10年後20年後の子どもたちが当たり前ができるかという点について私は不安に思っています。今、教員を目指している学生に教職概論という講義をしているのですが、その中には自己的な学生がおります。成績をつけたときに、「なぜこの成績なの」と言われます。優秀な学生で、答えは合っています。しかし、具体的に自分の意見が書けないのです。私の設題は、「こういうことを教えた。この言葉を使って、あなたが教師になったときに、具体的にどのような手だてをし

ますか。」と言っているのに、「自由の相互承認が当たり前クラスをつくりま
す。」という答えでした。答えになっていますか。なっていないですね。それ
で、点数を落としたのです。そしたら「僕は、全部出席しています。さらに、
レポートも全部出しました。」いや、そういうものじゃないよね。元々高校の教
員だったので、高校教育の影の部分を見たような気がします。その中で今日、
笠間市のある小学校に高校生と大学生を連れて1日お邪魔しました。というの
は高校生が私の講義にもう10回くらい来てくれているのですが、その中で教育
について総合的な探究の時間で何がやりたいのかと聞いたら、教育実習をや
りたいとのことでした。高校生がです。教育実習を受け取るのは、私も校長をや
っていたので分かるのですが、なかなか大変です。1人2人だったらいいのです
けれど、5人10人となると、先生方の負担も大きくなります。教育長に相談し
たら、ある小学校を紹介していただきました。その小学校に行って本当にすご
いと思ったのは、先生が、子どもたちの方を見ている。子どもたちに指示をす
るのが明確である。さらに叱らない。注意はするけど叱らない、脅さないとい
う所です。高校生に言いました。「君たちさ、勉強しないと大学受からないっ
て脅されているよね。」「はい。」と言っていました。まさにこのような風土をつ
くっているというのは、今日皆様方が、グループワークの中で、自分事として、
自分の子どもがもう育ってしまっているかもしれないけれども、どうなんだろ
うかっていうところを視点に話し合われているからだと思います。そこはやは
り、ファシリテーターの指導主事さんがうまくリードされています。皆さん、
指導主事さんに拍手を送りませんか。

(一同拍手)

実は今、私がもう一つ気になっていることとして愛着障害があります。今、
子どもたちの自己肯定感が低いと言われていています。お父さんお母さん方、子
どもがやってくれたことに、「ありがとう」って伝えてますか。「お片付けするの
当たり前だよ。」って言っていませんか。ありがとう、ありがとうって認めてあ
げること、子どもは自信がついていくのです。今日まさに最後のお別れの場
面で、1年生2年生の担任の先生が、高校生を呼びとめてくれて、「今日はあり
がとうね。君たちが来てくれたおかげで助かった。」って言ってくれたのです。
いや私見てて、助かっていません。邪魔してる方が多かったと思います。でも、
そう言われた高校生は、ここをスタートにまた考えます。これすごく大事な視
点を得たと思いました。そして今日ここに来て、皆様方の顔を見ながら、松山
千春さんの命という曲が私好きなのですが、最初に、「この子の人生を見守れる
なら、いつまでも見ていきたい」という歌詞があります。これは親不孝ですよ
ね。子どもが亡くなるのを親が看取るわけですから。その子が20年後30年後、
どこで生きてるか分からないけれども、自分が住んでいるコミュニティーでど
ういう力を発揮するのか。そういうこともやはりこれから学校の特色として考
えていかなければならないのかな、と思っています。東大が推薦入試を始めま
した。一説には東北大学は、半分以上を推薦でとるといようなことを言って

います。まさに体験することができて、そこから考えられる子どもたちが求められています。まさに今日の高校生の教育実習。カリキュラム、プログラムを見たら、1時間目から下校までみっちり入っています。校長先生が「ごめんなさい。」と笑顔で来られて、「大丈夫かな、高校生。」と言うと、「大丈夫です。今日は目一杯面倒をみてください。」と。昼休みに、子どもたちと鬼ごっこをしていました。近くで校長先生がお花に水をあげていました。そしたら校長先生のところに子どもたちが集まってきて、校長先生がわざと大きくその水を振って、みんなで楽しく過ごしていました。だから子どもたちは、良い方向に伸びる。さらにそこを保護者の皆様が支えている、というところを目の当たりにさせていただきました。まさに今副会長とここで、「つくばの日本一を真っ向から勝負するのではなくて、笠間は人間性で勝負しましょうよ」と言って、「そうですよね。」と盛り上がりおりました。保護者の皆様それから教育関係者の皆様が、知恵を絞って考えていければ、自分のところの子どもが不利益になる、ではなく、全体はどうなんだ、という視点でもう1回見ていけると、とても良い方向に進むと思います。早速、今日の小学校が、運動会の際に高校生もボランティアで入りたいと言ってくれたのです。信じられますか。高校生、大学生も一緒に、と言ってくれました。こんなうれしいことはないです。子どもたちが大学生とか高校生に寄って行って、お兄ちゃんお姉ちゃんたちにいろんな話を聞くというのも大事な視点かなと思いました。この会は本当に建設的な意見が出てきておりますので、まとめていかなければならないというところで、この後事務局は大変だと思います。ただ、すごく前向きな意見が出てきているので、そこをうまく拾いながら、合意形成を図っていければいいかなと思っています。本日は皆様方お疲れ様でした。本当に素晴らしいワークショップだったと思います。以上です。

総合司会：ありがとうございました。以上で議事進行を会長にお戻しいたします。

会 長：それでは次に、(3) その他について事務局から何かご連絡ございますでしょうか。

事務局：それでは事務局から (3) 次回の審議会の日程についてご連絡申し上げます。次回の審議会は、10月24日木曜日の午後7時から、場所はこちらの会議室で予定しております。皆様ご参加のほどよろしくお願いいたします。以上です。

会 長：ありがとうございました。それでは長時間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。本日の議事進行が滞りなくできたことに感謝申し上げます。以上をもちまして議長の職を解かせていただきます。

事務局：はい。ありがとうございました。今回のグループ協議におかれましても、数多くのご意見ありがとうございました。前回よりも、一歩踏み込んだ形の学区の見直しのための前向きなご意見をいただけたかと思えます。以上をもちまし

て、第4回笠間市立小・中学校学区審議会を終了させていただきます。遅くまでありがとうございました。